

| | | | | | | | |
|---|--|-----|-----|---------|---|-------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 英語コミュニケーションB(GD110) | | | 担当教員 | 新藤 照夫 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2単位 | 開講年次・時期 | 1年・後期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| この授業では、海外留学を目指す学生のために、留学に不可欠な英語表現を学修し、留学前の準備段階から留学後の生活で活用できるコミュニケーション能力を身につけることを目指す。授業においては、ペアワークやグループワークなどの様々な活動を通して、受講者全員がコミュニケーションに参加することを目指す。 | | | | | | | ②⑩⑪ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | | | | | | | |
| 情報収集、分析力 | | | | | | | |
| コミュニケーション力 | <ul style="list-style-type: none"> 教科書で学んだ表現を使用し、場面に応じた受け答えができる。 事物や人物を英語で描写できる。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 授業時の活動 会話テスト | 30% | 30% |
| 協働・課題解決力 | | | | | | | |
| 多様性理解力 | 異文化間コミュニケーションの観点から、文化の影響を理解し、場面に適切な英語表現を選択できる。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> 課題 定期試験 | 15% | 25% |
| 出席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 授業時の学修状況や活動状況を評価する。 課題（ポートフォリオにて3回）を課し、その内容を評価する。 会話テストにて技能・表現面の習得状況を評価する。 課題、小テストに対して、ポートフォリオおよび授業時にフィードバックを行う。 定期試験にて英語表現の習得・理解状況について評価する。 | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>この授業では、留学に不可欠なコミュニケーション能力の習得を主眼とし、テキストにあるさまざまな会話表現を学修し、トピックごとの語彙の強化や、会話のルールの習得を図っていく。具体的には教科書の編成に従い、場面別のモデル会話のリスニングやシャドウィングによって、英語表現のインプットを行い、インプットした表現をパターンプラクティス、ペアワーク、グループワークによってアウトプットの実践を行う。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：『Communication Builder Revised Edition』 Noboru S. Yoshitomi 著 南雲堂</p> <p>参考書：『口語英語大辞典』 朝日出版社</p> <p>指定図書：『Communication Builder Revised Edition』 Noboru S. Yoshitomi 著 南雲堂</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 留学を希望する者で、「英語コミュニケーションA」を受講した学生の受講を期待する。 授業では、遅刻、無断欠席、途中退室などない積極的な参加を強く求めていく。授業時間の大半は口頭練習を行う。 授業前には教科書に付属のCDにて必ず予習を行い、授業後には各回の内容を復習すること。 辞書(電子辞書可)を持参の上、授業に臨むこと。 | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|--|--|---|
| 1 | オリエンテーション | 授業の進め方、評価方法、学修方略についての説明 Model Dialogue の聴解、Unit1～Unit 6 の Glossary の読解 | ・シラバスの確認 ・ポートフォリオ記入。 |
| 2 | Unit 1～Unit 6 の Review | Unit 1～Unit 6 の Review: 「自己紹介」「人物描写」 「招待」「道案内」「苦情・謝罪」の表現の聴解、学修した表現を使用したペアによる会話演習 | ・Unit 1～6 の内容確認。 ・Unit 1～6 の復習、ポートフォリオ記入。 |
| 3 | Unit 7: Giving Advice 1 | 「助言」をテーマとした内容についての聴解、シャドウイング、パターンプラクティス、学修した表現を使用したペアによる会話演習 | ・Unit 7 前半の予習。 ・Unit 7 前半の復習、ポートフォリオ記入。 |
| 4 | Unit 7: Giving Advice 2 | 「助言」をテーマとした内容についてのペアワーク、グループワーク、Unit Review ページのライティング | ・Unit 7 後半の予習。 ・Unit 7 後半の復習、ポートフォリオ記入。 |
| 5 | Unit 8: Describing People (Character) 1 | 「情報入手」をテーマとした内容についてのシャドウイング、パターンプラクティス、学修した表現を使用したペアによる会話演習 | ・Unit 8 前半の予習。 ・Unit 8 前半の復習、ポートフォリオ記入。 |
| 6 | Unit 8: Describing People (Character) 2 | 「情報入手」をテーマとした内容についてのペアワーク、グループワーク、Unit Review ページのライティング | ・Unit 8 後半の予習 ・Unit 8 後半の復習、ポートフォリオ記入。 |
| 7 | Unit 9: Describing People (Appearance) 1 | 「比較・対照」をテーマとした内容についてのシャドウイング、パターンプラクティス、学修した表現を使用したペアによる会話演習 | ・課題①の解答・Unit 9 前半の予習。 ・Unit 9 前半の復習、ポートフォリオ記入。 |
| 8 | Unit 9: Describing People (Appearance) 2 | 「比較・対照」をテーマとした内容についてのペアワーク、グループワーク、Unit Review ページのライティング | ・Unit 9 後半の予習。 ・Unit 9 後半の復習、ポートフォリオ記入。 |
| 9 | Review ① | Unit 7～9 の復習 各場面のダイアログおよび Glossary の読解 Unit 7～8 の表現を使用した英語による発表 (小テスト①) | ・小テストの準備。 ・Unit 7～9 の復習、ポートフォリオ記入。 |
| 10 | Unit 10: Inviting People 1 | 「経験を語る」をテーマとした内容についてのシャドウイング、パターンプラクティス、学修した表現を使用したペアによる会話演習 | ・Unit 10 前半の予習。 ・Unit 10 前半の復習、ポートフォリオ記入。 |
| 11 | Unit 10: Inviting People 2 | 「経験を語る」をテーマとした内容についてのペアワーク、グループワーク、Unit Review ページのライティング | ・Unit 10 後半の予習 ・Unit 10 後半の復習、ポートフォリオ記入。 |
| 12 | Unit 11: Giving Directions 1 | 「面接」をテーマとした内容についてのシャドウイング、パターンプラクティス、学修した表現を使用したペアによる会話演習 | ・課題②の解答・Unit 11 前半の予習。 ・Unit 11 前半の復習、ポートフォリオ記入。 |
| 13 | Unit 11: Giving Directions 2 | 「面接」をテーマとした内容についてのペアワーク、グループワーク、Unit Review ページのライティング | ・Unit 11 後半の予習。 ・Unit 11 後半の復習、ポートフォリオ記入。 |
| 14 | Glossary による総復習 | ペアワーク、グループワークによる表現の復習、および会話練習 | ・Glossary の予習。 ・Glossary の復習、ポートフォリオ記入。 |
| 15 | Review ② | Unit 10～11 および Glossary の復習 各場面のダイアログおよび Glossary の読解 Unit 10～11 の表現を使用した英語による発表 (小テスト②) | ・課題③の解答・小テストの準備。 ・Unit 4～6 の復習、ポートフォリオ記入。 |
| 16 | 定期試験 | 筆記試験 | 試験の準備学修 |